



さんしのもりけんきゅうじょ

蚕糸の森研究所

令和元年度 2019年4月～2020年3月

4年生 ウメ・クワ研究室

杉並区立 杉並第十小学校



4年生 ウメ・クワ 研究室

研究のテーマ

- 梅里1丁目町会・女子美術大学・杉十フレンズ・保護者の方と共に
●1年間、蚕糸の森公園の木(サクラ・クワ・ウメ)を観察し、季節の変化との関係を学ぶ。
●クワの葉、実、幹が昔からどのように使われていたかについて調べ、草木染め等をする。
●梅里公園・蚕糸の森公園のウメを採取し、梅干しづくり等を行う。

ウメ 今年もおいしい梅干しができあがりました

梅里公園や蚕糸の森公園・学校で採れた梅干しを杉十で加工。まさに「地産地消」の梅干しです。

無添加、調味料無しの昔ながらの手づくりです。



クワ クワの葉を使って草木染め

クワの葉を作り、ハンカチーフを草木染めしました。模様も考えながらつけました。私たちのお気に入りです!



おもな研究場所



2019年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月 クワ 校庭から蚕糸の森公園

校庭や蚕糸の森公園にあるクワの葉を観察。蚕糸の森公園にある「枝垂れクワ」は珍しい品種です。蚕糸試験場が、品種改良によって開発したと知りました。



6月 ウメの実の採取

「梅里公園での活動」ウメの実を、梅里1丁目町会の方々、保護者、児童で協力して採取しました。



6月 ウメの実の洗浄・選定

即日、梅の実を洗浄し、選別(キズもの、熟れ過ぎたもの)、ヘタ取り、塩漬け。後日、出てきた梅酢をもとに漬け込みました。



7月 クワの葉染め

地域にある「女子美術大学」の先生に来ていただき、教員向けの研修会を実施しました。



10月 クワの葉染め(これからどうしたい?)

「世界に一つだけのクワの葉染め」を、これからどうしたいか話し合いました。



5月 河野庄次郎先生のお話

今年も、CS委員でもあり梅里に長く住んでいらっしゃる河野さんのお話を聞きました。「梅里の町から、小学校が移動することは反対意見が多くあったんだよ。『子供たちをよりよい環境で』の想いで移転が実現したんだよ。梅里公園で、小学生が活動することは地域の人にとって嬉しいんだよ。」



7月下旬 ウメの天日干し

夏休みに、保護者と児童が協力して3日間教室前テラスにウメを干しました。



9月 クワの葉染め

今年は、杉十のカイコの学習でつながりのできた企業からクワの葉をいただき、クワの葉染めにチャレンジしました。



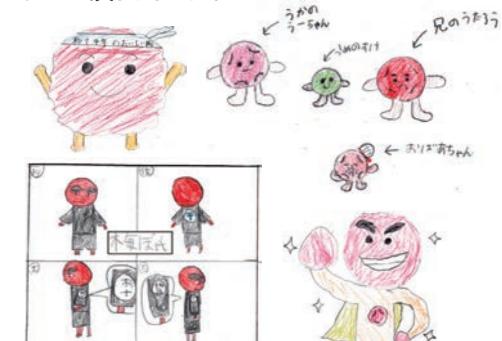
11月 クワの葉染めでの造形活動

グループで何を作るか相談して、一つの作品に仕上げました。



2月 梅干しのキャラクター

梅干しを販売するために、梅干しのキャラクターを考えました。「梅里まつり梅干し実行委員」を立ち上げ、多数の応募作品の中から、令和の梅干しにふさわしい4つのキャラクターが決まりました。



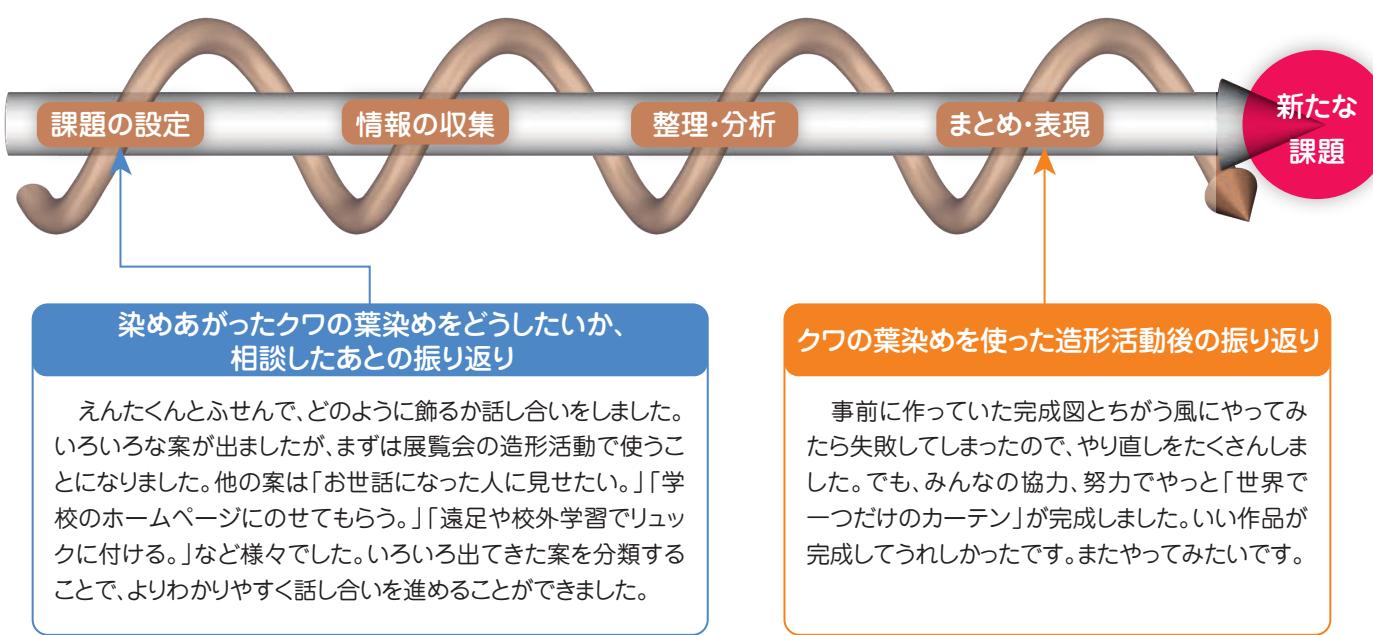
2月 クワ 研究室発表会に向けて

「3年生にどうやって伝えようか。」「ほかの学年の人にも分かるようにしたいね!」と目的や方法、内容を検討しました。

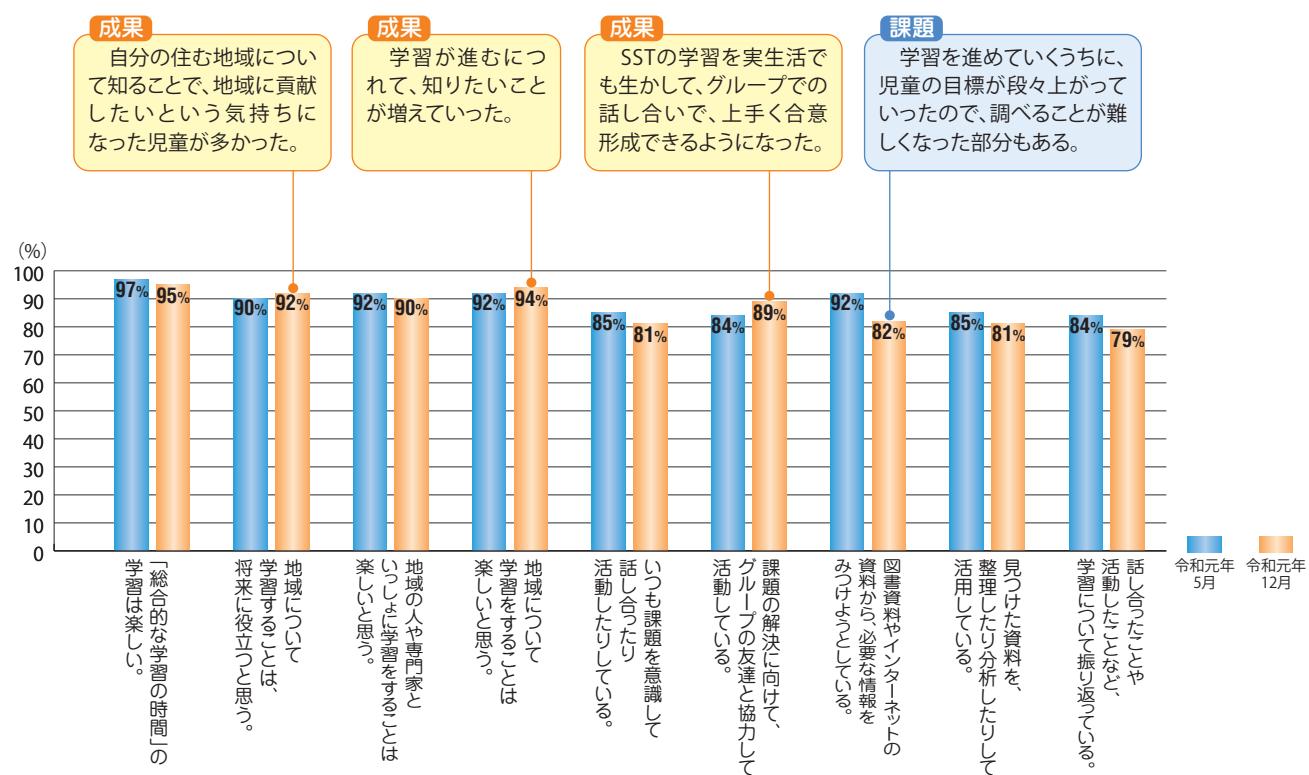


児童の学びの振り返りと成果

課題解決のプロセス(クワの葉染め)



成果と課題



「蚕糸の森研究所」各学年研究室

